

霧海難撲滅キャンペーン

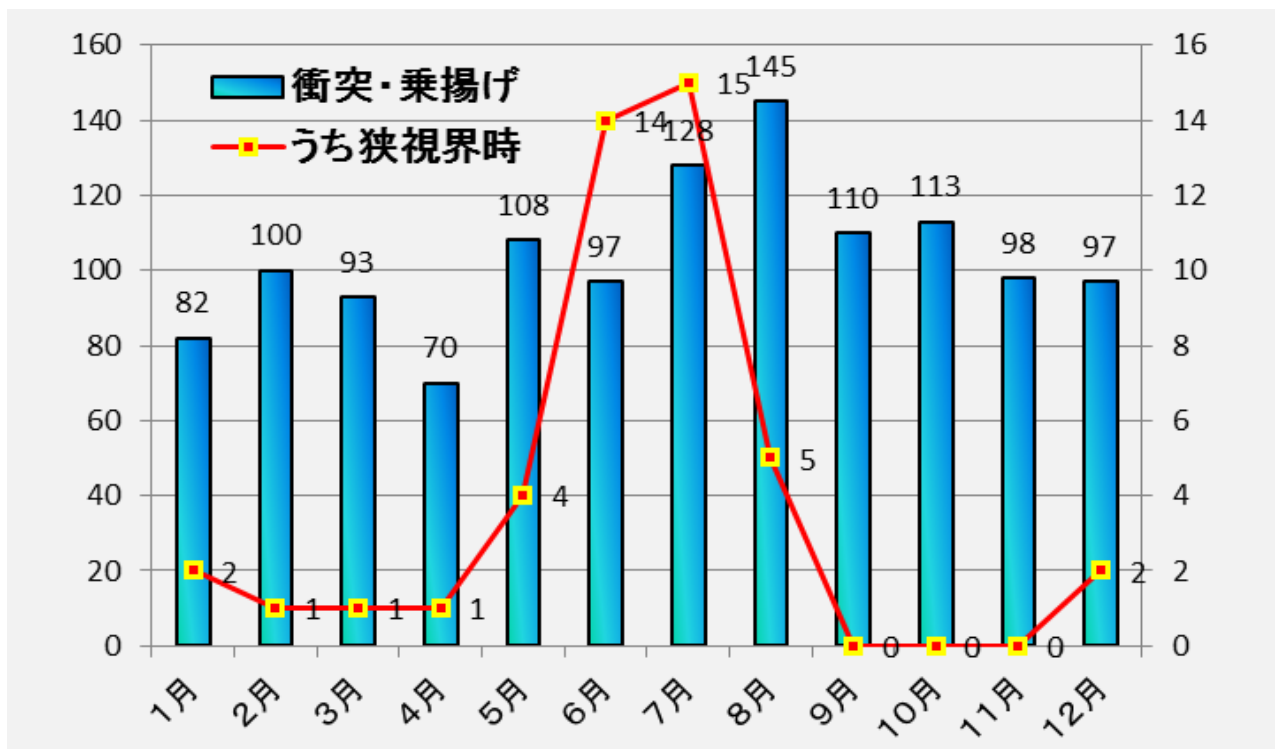
～霧海難ゼロをめざして～

(平成23年3月)

第六管区海上保安本部では、春先から梅雨時期にかけて、濃霧により視界が制限され、衝突・乗揚海難が多く発生する傾向にあることから、海難が多発する時期を前にして、視界制限状態における適切な運航を呼びかけるため、3月1日(火)から10日(木)までの10日間「霧海難撲滅キャンペーン」を展開します。

今治海上保安部では、本キャンペーン期間中に、関係機関と連携のうえ、海上保安官による訪船指導等を実施し、霧海難ゼロを目指して、乗組員等に対して次の事項を重点指導します。

- 1 見張りの強化
- 2 相手船初認時における減速
- 3 安全な場所への早期避泊



過去5年間衝突・乗揚げ海難発生状況
(平成17年～21年)



今治海上保安部

霧海難撲滅キャンペーン

～瀬戸内海・宇和海海難防止運動～

[H23.3.1～H23.3.10]



【霧の来島海峡】

・狭視界時における航法等の遵守

- 厳重な見張りの励行
- 霧中信号の励行・遵守
- 安全な速力による航行
- 船位の確認、適切な避航動作
- 安全な場所へ早期に避泊



・狭視界時における安全運航マニュアルの策定と励行

・気象・海象等の十分な把握

霧海難0をめざして

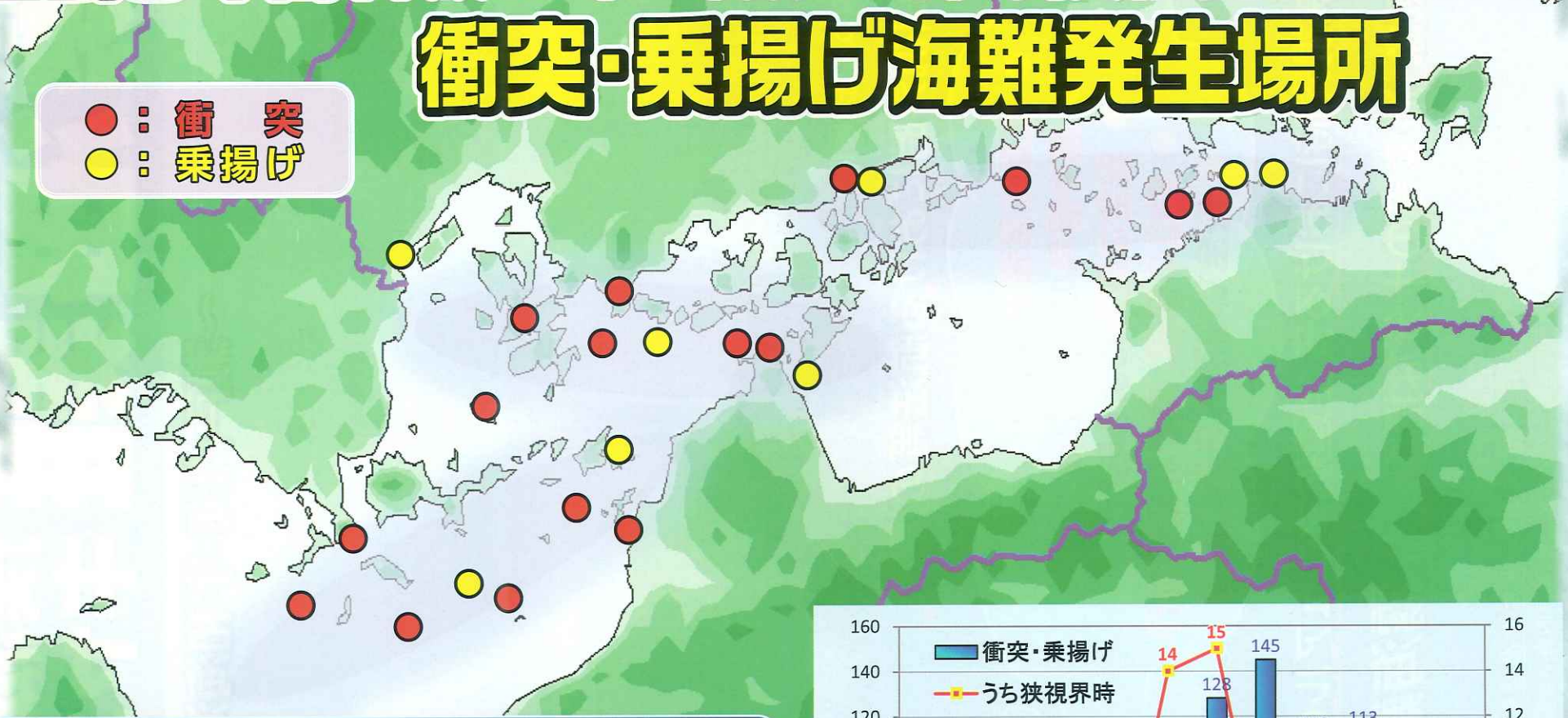
第六管区海上保安本部

海難防止強調運動瀬戸内海・宇和海地方推進連絡会議

(財)海上保安協会広島地方本部、(社)瀬戸内海海上安全協会、(社)瀬戸内海小型船安全協会、中国総合通信局、四国総合通信局、中国運輸局、四国運輸局、広島地方海難審判所、運輸安全委員会広島事務所、中国地方海運組合連合会、全日本海員組合中・四国地方支部、内海水先区水先人会、船員災害防止協会中国支部
※このリーフレットは、(社)瀬戸内海海上安全協会の助成により作成しています。

過去5年間(平成17年~平成21年)の狭視界時における 衝突・乗揚げ海難発生場所

- : 衝突
- : 乗揚げ



瀬戸内海・宇和海では、春先から夏場にかけて霧が発生しやすくなります。

